

PROCAMERA

クイック・スタート・ガイド

撮影画面 1



撮影画面 2

マニュアルモードにするには、コントロールパネルからAモードからM/SIモードに切り替えられます。

露光時間
タップで露出を調節できます。

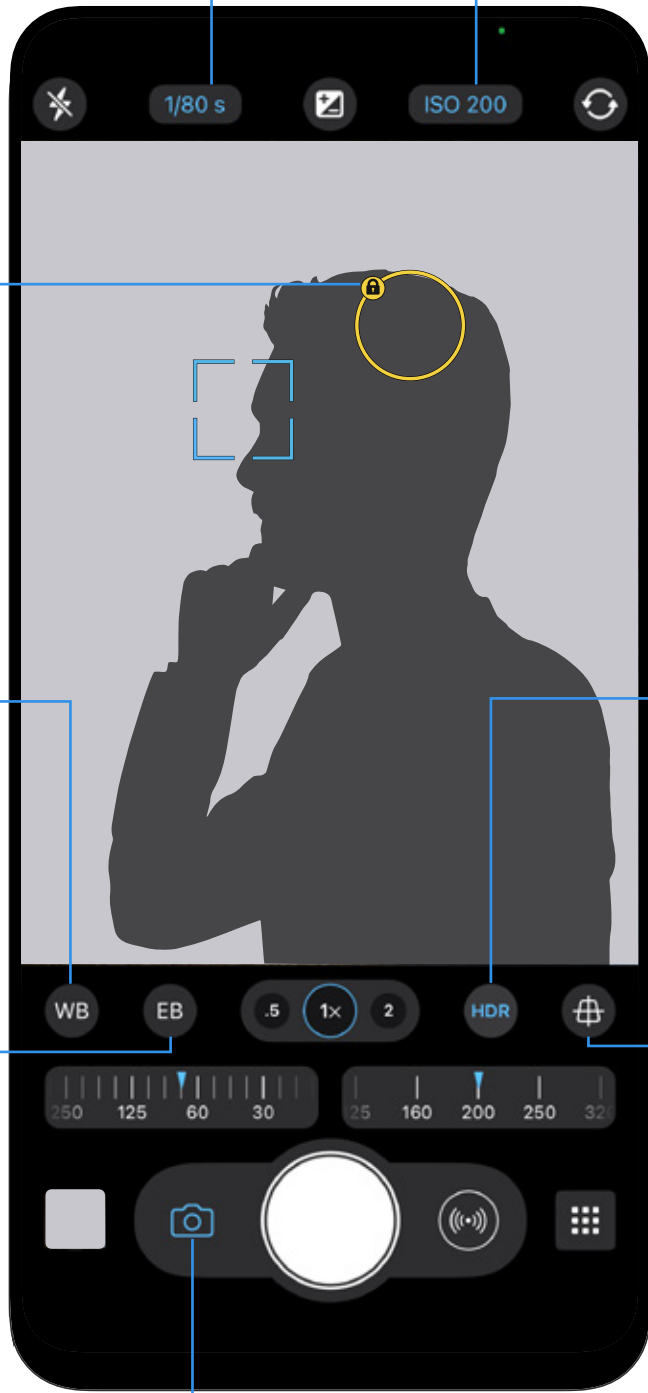
ISO感度
タップでISO感度を調節できます。

フォーカス (F) または露出 (E) のアイコンを長押しするとロックされます。F/Eコントロールは、再度長押しするまでロックされたままになります。ロック状態では、F/Eアイコンを新たな位置に移動させても、自動でロックされます。

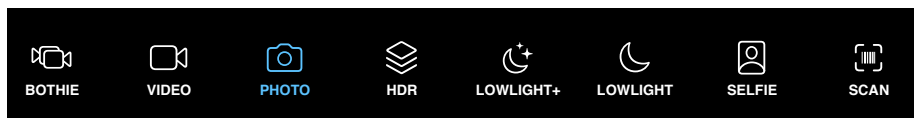
ホワイトバランス
色温度とテイントをタップ&スワイプ式のダイヤルで調節できます。もう一度タップすればホワイトバランス自動調節に戻ります。長押しすると、グレーカードを使ったキャリブレーションを行います。

HDR
タップでスマートHDRを解除できます。

APC
タップでリアルタイムでの遠近補正ができます。(ProCamera Up会員限定のプレミアム機能です。)



カメラモード セレクター



タップでビデオ、ポートレット、その他モードを選べます。

コントロールパネル



高速連写

高速連写モードでは瞬時にフル解像度の写真を連続撮影することができます。



F/Eロック

画面から指が離れた際にフォーカスおよび露出ポイントをロックします。



グリッド

様々なグリッドビュー（三分割法や黄金比など）が構図の決定に役立ちます。



傾斜計

仮想水平3D傾斜計により傾きのないまっすぐな写真を撮影できます。

A

A: オートモード

オートモードでは、被写体に合わせて最適な値が自動的に設定されます。露出コントロールまたはEVアイコンを使えば画像の明度を調節できます。

4:3

縦横比

様々な縦横比（4:3、16:9等）を切り替えます。RAW写真はフルセンサーを利用し、常に4:3の縦横比が適用されます。



ファイル形式

使用中のファイル形式を確認できるほか、お使いのデバイスで使用可能なファイル形式を切り替えることができます。



手ブレ防止

補助シャッターボタンで手ブレ防止機能を使用できるようにします。手ブレ防止機能では、iPhoneがしっかりと構えられるまで、シャッターリリースを遅らせ、よりクリアで鮮明な写真の撮影が可能になります。RAW撮影をお勧めします。



セルフタイマー

補助シャッターボタンでセルフタイマーを使用できるようにします。補助シャッターボタンを長押しすると、その他の設定（ProTimerと呼ばれる延時間およびその他のインターバロメーターの設定）を表示できます。



表示モード

3段階のオンスクリーン表示モードを切り替えます。»スタンダード«モードでは、すべての項目が表示されますが、»ライト«モードでは、最低限の項目しか表示されません。



設定

ProCameraの高度な設定を開きます。

M

M: マニュアルモード

フルマニュアルモードでは、画面上部に表示される値をタップすることで露出・ISOをカスタマイズできます。

SI

半自動モード

半自動モードに切り替えるには、Mをもう一度タップします。露出又はISO一方の値を入力すれば、ProCameraがもう一方の最適な値を自動調節します。EVアイコンを使えば画像の明度を調節できます。



自動遠近調節

自動遠近調節を使用可能に設定すると、キャプチャ画面にボタンが表示されます。このボタンをタップするとリアルタイムでの自動遠近調節がオンになります。なお、この機能はProCamera Up会員限定のプレミアム機能です。



ヒストグラム

全体の光源レベルを表示するライブヒストグラムを有効にします。右側の赤い表示は露出過多を表し、左側の赤い表示は露出不足を表します。

知っておくと便利

フュージョンカメラ



ProCameraの特徴の一つは、フュージョンカメラと単一レンズの両方で写真が撮れることです。フュージョンカメラでは、複数のレンズからの画像を組み合わせることで魅力的な写真を作り出し、単一レンズでは自分好みのカスタム設定とRAW現像が可能です。

複数レンズ搭載の端末での一般的な撮影では、フュージョンカメラを使うと最適の設定にカメラが自動調節される上、複数のレンズの画像を組み合わせることで最良の画像を作り出せます。RAW形式の写真を撮影したい時や、露出・ISOのマニュアル設定をしたい場合は、単一レンズモードに簡単に切り替えられます。

フュージョンカメラモードをオンにするには、コントロールパネルからオート(A)を選択します。単一レンズモードに切り替えるには、マニュアル(M/SI)を選択します。単一レンズモードでは、一つだけのズーム率がキャプチャ画面上で白い丸枠に囲まれて表示されます。フュージョンモードでは、使用可能なズーム率とレンズすべてがキャプチャ画面上で白枠に囲まれます。

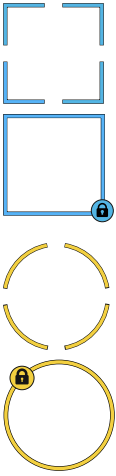
以下の表はAモードとM/SIモードそれぞれにおける使用可能な機能を表示しています。

| | A | SI M |
|----------|------------------|-------------------------|
| レンズモード | フュージョンカメラ | 単一レンズ |
| レンズ選択 | オート | マニュアル |
| フォーカス | オート, タップでフォーカス | オート + タップでフォーカス + マニュアル |
| 時間+ISO | オート, タップでフォーカス | オート + タップでフォーカス + マニュアル |
| 露出補正 | ✓ | ✓ |
| 露出ロック | ✓ | ✓ |
| ホワイトバランス | オート | オート + マニュアル |
| ホワイトバランス | ✓ | ✓ |
| ファイル形式 | JPEG, HEIF, TIFF | JPEG, HEIF, TIFF, RAW |

予めご了承ください: iOSの制限により、広角レンズ(0.5x)は固定焦点となっており、またRAW形式での撮影ができません。

知っておくと便利

フォーカス&露出



- フォーカス&露出アイコンが非表示の場合、カメラは自動モードに設定されています。
- カメラは自動的にフォーカスおよび露出の設定を行います。
- 画面上をタップすることで、好みの位置にフォーカスおよび露出を設定できます。
- 画面中央をタップすると自動モードを有効にできます。
- 自動モードを使用中に画面中央をタップすることでF/Eアイコンを分割することができます。アイコンが少しずつ表示されますので、容易にいずれかのアイコンを好みの位置に移動させることができます。
- 自動モードを使用中に画面中央から直接フォーカスアイコンをドラッグします。露出のアイコンを先にドラッグできるよう設定することも可能です。
- フォーカス (F) または露出 (E) のアイコンを長押しするとロックされます。F/Eコントロールは、再度長押しするまでロックされたままになります。ロック状態では、F/Eアイコンを新たな位置に移動させても、自動でロックされます。

音量ボタン・イヤホントリガ

端末の音量ボタンやイヤホン、Bluetoothのリモートトリガを使用して写真を撮影できます。設定>ボリュームトリガで有効にすることができます。

全画面トリガ

ビューファインダー内の任意の場所をシングルタップすることで撮影を可能にするには、設定内の「全画面シャッター」を有効にします。この機能はストリートフォトグラフィーに適しています。全画面シャッターが有効になっている場合、F/Eを好みの位置に設定したり、自動モードを有効にしたりするためには、長押しする必要があります (全画面シャッターが無効の場合はシングルタップ)。

ライトボックス

有効になっている場合、ProCameraは写真やビデオをアプリ内の「ライトボックス」と呼ばれる専用のアルバムに保存します。これらのファイルは、iOSのフォトライブラリ (カメラロール) にエクスポートしない限り、iOS付属の「写真」アプリには表示されません。設定からライトボックスを有効にできます。

通常のライトボックスに加え、ProCamera Upの会員になると顔または指紋認証式によって保護されているプライベートライトボックスも使えるようになります。iOSの「シェア」アイコンをタップすると1つまたは複数のファイルを特定の保存先にコピーできます。

クイックフリック

撮影画面でのドラッグジェスチャーによりメディアアルバムや設定に素早くアクセスすることができます。画面右端から左方向へドラッグすると設定が開き、画面左端から右方向へドラッグすればメディアアルバムにアクセスできます。

知っておくと便利

EXIFの閲覧

単独の写真を開いている状態で”i”ボタンをタップすると、EXIF/メタデータを開けます。ここからファイルのサイズ、露出時間、日付など重要な写真の情報を閲覧できます。表の中を右にスワイプすると撮影場所と方位が表示されます。

RAW形式での撮影と編集

ProCameraでは、RAW形式(.dng)での撮影と編集が可能です。
RAW形式の特徴:

- iPhone 6s以降すべてのiPhoneで使用できます。
- RAW写真は現像前の写真なので、表示には向いていません。
- カメラロールにあるRAW画像のプレビューを高画質で見るには、数秒間かかります。
- RAW形式の画像は必ずカメラセンサーの基本形式、4:3の縦横比で撮ります。
- RAW形式の画像は生のセンサーデータなので、加工を基本とするキャプチャモード(HDR または 高感度+など)には適合しません。
- 複数カメラ搭載デバイスでは、RAWは単一レンズモードでのみ使用できます。コントロールパネルでRAWを選択すると、自動的に単一レンズモードに切り替わります。
- 手ブレ防止機能によってカメラのブレを抑え、より鮮明なRAW写真が撮れます。
- 設定から、好みのデータ形式(RAWのみまたはRAW+JPG)を選べます。
- RAW形式で撮影する際、ズームはできません。